

長久手市行政評価票 (A票: 事業評価票)

事業番号	12	事業名	商工振興事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
基本情報	第6次総合計画・基本目標		1「やってみたい」でつながるまち		
	行政改革指針・重点課題		—		
	法定受託事務の有無		無		
	その他(関係計画、要綱等)		有 長久手市商工振興事業補助金交付要綱、小規模企業等振興資金融資制度要綱、長久手市信用保証料補給制度要綱		
	事業開始の背景、経緯等		市内中小企業が円滑に業を営めるよう、事業に対する補助や支援などを行う。		
市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可 (両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 個性的で魅力のある商業の振興を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の中小企業者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域経済の活性化を目指す

項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
			事業費(A)	千円	予算	69,746	71,655
人件費(B)	千円	決算	5,960	6,756	4,368	7,469	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	76,401	76,872	193,160	251,677	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)			—	—	—	—	—
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		—	—	—	—	—

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
			商工会会員数	者	目標	810	810
		実績	806	803	770	825	

(指標の設定根拠) (数値目標の根拠)
事業所が増えることにより地域での商工業が活性化されるため、商工会に登録している会員数を指標とする。
(前年から指標を変更した場合はその理由)
商工会と共に中小企業に対する新型コロナウイルス感染症対策の充実を目指し、会員数の維持を目標とする。
(前年までの指標)

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 新型コロナウイルスの影響を受けた事業者に対する補助を複数実施し、特に県と共同で実施した協力金事業や、市独自で実施した備品購入費補助金事業は特に多くの申請を受け付けた。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度新たに実施した協力金や補助金の制度の周知に際し、長久手市商工会や市内金融機関等の協力を依頼し、効果的に周知することができた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 新型コロナウイルスの影響が続いている中、支援を必要としている業種はどのようなものがあるのか、商工会や市内金融機関など企業と密接に関わる場所から情報を収集し、支援策を引き続き検討していく。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	住民起業支援塾事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績	/	/	/	/	/
	【アクションプラン(総合計画)の指 定の指標】 起業者数【累計】	人	見込 実績	7 8	- -	- -	- -	- -
	(3) セミナー参加者数	人	見込 実績	20 15	- -	- -	- -	- -
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 新型コロナウイルスの拡大に伴い、起業を考える人が少ないと考え、オンラインによるタイムマネジメントセミナーを実施した。令和3年度以降は商工会が実施。							今後の方向性	休・廃止

事業を構成する事務事業②	事務事業②	商工会支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績	/	/	/	/	/
	【アクションプラン(総合計画)の指 定の指標】 経営発達支援事業支援件数【単年】	件	見込 実績	110 316	115	120	125	130
	【アクションプラン(総合計画)の指 定の指標】 起業者数【累計】	者	見込 実績	6 6	7	8	9	10
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・地元商工会への補助金交付し、市内事業者の健全な経営を支援した。 ・創業支援セミナー(全4回)を実施し、20名(内長久手市7名)が参加した。 成果数値(起業者数) 平成30年度4名、令和元年度1名、令和2年度1名 累計6名							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	事務事業③	飲食店新型コロナウイルス感染症対策補助事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 申請者数	人	見込 実績	30 43	-	-	-	-
	(2) 交付決定額	千円	見込 実績	3,000 3,215	-	-	-	-
	(3)		見込 実績					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとして、新しくデリバリーやテイクアウトをはじめた飲食店に対し、デリバリーやテイクアウトに使用する資材等の代金を9/10(上限10万円)補助した。							今後の方向性	休・廃止

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 新型コロナウイルス感染症対策に留まらず、商工会は市内中小事業者の経営相談の受け皿として中心的な役割を担っていることから、商工会の事業内容を助成した補助を実施していく必要がある。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 近隣市町村との比較も含め、商工会の役割やその補助の内容につき、引き続き商工会と意見交換していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革指針に係る「協働事業の拡大」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。
内部意見への回答		